

巻頭言

平成22年度 事業計画総会を終えて

(社)大阪府作業療法士会 会長 長辻 永喜

(大阪河崎リハビリテーション大学)



去る3月27日の事業計画総会において議案の審議にご協力いただきまことにありがとうございました。22年度は骨子にありますように①組織の見直し②公益社団法人への準備③日本作業療法学会に向けて取り組んでまいります。この活動を支える会費の徴収が毎年大きな問題になっております。予算を圧迫する会費未納に関し社団法人取得後4年を経過いたしましたので、定款にのっとり行方不明会員を含めた除名処理の決議をいただきました。公益法人としての性格を明確にするとともに有資格者の会員と非会員ははっきりと区別を行います。組織に賛同いただいた会員に研修・広報・公益事業をしっかりと享受いただけるものにしてゆきたいと考えています。また、会費納入の懸案を解決すべく23年度から原則自動振り替えへの移行を進めてまいりますのでご協力を賜りますようお願いいたします。広報啓発の一環として今年も昨年に引き続きバリアフリー2010に日本作業療法士協会・近畿連絡会・大阪府士会の三者の連携の下で研修会・セミナー・相談ブースを設置いたしました。ご協力ありがとうございました。

平成25年度第47回日本作業療法学会立候補のご承認ありがとうございました。前回の第26回学会から20年を経過しての開催です。大阪府士会の活性化を図りつつ全国にリハビリテーションの大きな流れを作り出した大阪、そして今も日本の中心的役割を果たしている大阪を関係団体、府民に大きくアピールしてゆきたいと考えています。また、平成22・23年度の役員改選が行われました。新たな体制で今後の大阪府士会運営を行ってまいります。よろしく願いいたします。

研修会は3月総会恒例の診療報酬改定に向けての協会本部情報を中心に提供いたしました。それに伴うわれわれ作業療法士の方向性を確認いただけたかと思ひます。刻々

と変わってゆく診療報酬に合わせ現場はより機敏に立ち回る必要があります。報酬あつての職能であり、経費がかかっても府民・国民に必要だと言われる職種でなければなりません。診療報酬に見合うサービスを提供し、対象者・当事者にその成果を実感してもらわねばなりません。作業療法は不可欠だと国に届くようであればなりません。

来る5月29日(土)には21年度の事業報告・決算総会を開催させていただきます。この中で1年間活動してまいりました大阪府士会への会員皆様のご意見を頂戴したいと思っています。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。万一ご欠席の場合は必ず委任状の返送にご協力いただきますように重ねてお願いいたします。



平成21年度事業報告・決算総会のご案内

- 日時：平成22年5月29日(土)午後2時～
場所：大阪市立阿倍野市民学習センター
内容：・研修会：認知症及び維持期リハビリテーションの動向
—大阪府の取り組み—
・平成21年度の事業報告ならびに決算報告について
・懇親会

※総会に出席・欠席にかかわらず、議案書に同封されている葉書を必ず提出してください。

平成23年度から、会費納入方法が「自動振替」に完全移行します。

今年度中に、自動振替の手続きを完了いただきますよう、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。
(詳細は、ホームページ <http://osaka-ot.jp/>をご確認ください)